

ヒーリング ガーデナーを 知っていますか

ヒーリングガーデナーとは

一般的に健全者は自分の意思で自由に
出かけられますが、高齢者、障害者等（以
後はゲスト）の皆さんが出かけようとす
ると、誰か家族の方などの介添え者を必
要とします。例えばゲストが公園でのひ
と時を過ごしたいと思っても、介添え者
の都合も有り、ゲストの希望や意思が充
分に反映されない事が多いと思います。

公園のフィールドには、草花、花卉の色
合い、風による樹木の葉の揺れる音、土の
暖かみ等、普段の生活では味わえない静
かな空間と気持ちがあらぐ時間が有り、
そこでは、心身共にリラックスでき、精神
的にも大変癒されます。この貴重な空間
と時間を、高齢者、障害者等、社会的に弱
い立場の人々に健全者と同じように楽し
んで貰えるようにする支援活動が必要で



公園案内
ヒーリングクラブ松山
会長
穴吹 明

あり、それを行っているのが、今注目され
ているヒーリングガーデナー（公園ボラ
ンティア）です。

障害者の五感の鋭敏さに 大変驚きました

平成16年にNPO法人JMACCSの主
催で、四国初の「公園ボランティア講座」
が開催されました。年間10回のカリキュ
ラムで、先ず1回目はボランティアの意
義についてでした。ボランティアと関わ
るのは初めてだったので大変違和感を感じ
ましたが、その講義で、今後の生活の中
で我々は「自助は家族」、「共助はボラン
ティア」、「公助は公的補助」でお世話にな
り、自助、公助はある程度制限を受けます
が、共助（ボランティア）はやり方によつ
ては広がりがある分野と教えられ、大変



会員による樹木の学習風景

験、2人ペアでのアイマスクを付けて
の歩行体験等を経験しました。何れも健
常者では味わえない、体が大変不自由な
なったように感じる貴重な体験でした。

また、大学の演習林での視聴覚障害者
との樹木ソムリエ（樹木の香り、肌ざわり
で樹木名を当てる）体験では、最初に20種
の樹木名を教えられ、次に健全者はアイ
マスクを付けて、スギ、ヒノキ、カエデ
等の10種類の名前を当てるゲームをし
ました。視聴覚障害者の方は全て正解し
たのに対して、健全者は6割程度の正解率
で、この体験でも障害者の五感の鋭敏さ
に大変驚くとともに、会話時の障害者の
方の表情の豊かさや自然に発する笑顔に
も感動させられました。

感銘し、講座
を継続する勇
気が湧いてき
ました。

そして高齢
者、障害者へ
の対応の講習
では、障害者
と同じ体験を
する為に、体
に治具を付け
ての疑似体

その後、園芸療法、手話、ネイチャーゲーム等の忙しくも楽しい講習を経て、講座を無事修了することが出来ました。

講習と実体験との差の大きさを味わいました

それでは、実際に活動を行っている、私たち「公園案内ヒーリングクラブ松山」の紹介をさせていただきます。

このクラブは、平成17年4月から、公園ボランティア講座の受講生のうち18名でスタートしました。そして、4月早々、高齢者介護施設「悠美」さんより花見支援の要請がありました。当ク

ラブとして高齢者に対する講習は受けていたものの、最初の実践でもあり、考えていた以上に大変でした。その日の活動は、

ゲスト1名に対し、職員、会員のペアアでの組み合わせて始めました。最初はゲストの車椅子を押す簡単な



松山総合公園での活動

ある公園のフィールドで、ゲストとの会話も少しずつ和み、ゲームの輪では、ゲストの表情も最初に出会ったときの硬い顔ではなく、楽しい元気な笑顔になりました。我々会員も少し余裕が出て、ゲームや昼食等の支援にも自信が出てきました。予定の活動も終わり、マイクロボスへゲストを見送るときには、ゲストの方々の清々しい表情や、また逢いたいというような表情（中には感極まって涙を出さ

れる方もいました）を見て、我々会員にも支援できたという自信と、次の活動に対する力強い勇気が湧いてきました。

最終目的は優しい人創りです

その後、グループホームの皆さんの支援や、北条での障害者の子供さんとのサッカー遊び等を行いました。が、ゲストのみなさんは、公園の清々しい風と葉の擦れ合う音に癒され、元気を取り戻して帰っていかれました。

現在の活動は第2土曜日を定例会とし、松山総合公園を中心に行っていますが、今後は会員を増やし、松山市中心部から周辺、将来は南予、東予へと支援活動を拡大していき、各地区の支援活動は、その地区の会員で出来る体制にしたいと考えています。

この活動は、支援をしてあげるではなく、させて頂く気持ちで基本で、最終目的は優しい人創りであり、そのことを通して、地域の評価、ポテンシャルを高めることになればと考えています。

当クラブに興味のある方、或いは特別体験参加したい方は、ぜひ下記までお問合せ下さい。

●お問い合わせ先
Tel・fax 089-972-0915